

I.奄美群島に生息・生育する

県指定 希少野生 動植物

リュウキュウアユ

県希

アユ科



生息地

奄美大島(役勝川、川内川、河内川など)

主な特徴

成魚は、150mmほど。背部はオリーブ色で腹部は銀白色、時には2個の黄色斑が胸びれの近くにある。

キバラヨシノボリ

県希

ハゼ科



生息地

奄美大島、加計呂麻島、徳之島、沖永良部島

主な特徴

成魚の全長は雄で70mm、雌で60mmほど。クロヨシノボリによく似るが、斑紋が不規則で輪郭がぼやけている。

ヤエヤマヒルギシジミ

県希

シジミ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成貝で殻長90mm、殻高75mm内外。殻は大型のシジミ形。殻皮は黄褐色～褐色で厚い。

リュウキュウサワガニ

県希

サワガニ科



生息地

奄美大島、徳之島

主な特徴

甲幅20mm前後で、ハサミ脚の腕節と掌節の上面には小さくて短い棘が散在する。

オキナワトカゲ

県希

トカゲ科



生息地

中之島、沖永良部島、与論島

主な特徴

頭胴長は60～100mm程度。成体のオスは頭部の幅が広く頑丈である。

タナゴモドキ

県希

カワアナゴ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成魚の全長は80mmほど。体側にぼんやりした黒色帯と、尾びれ基部に1黒色斑がある。

シマカノコ

県希

アマオブネガイ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成貝で殻長20～30mm。殻表は平滑で光沢があり、細かい黒白の縦縞がある

サキシマヌマエビ

県希・県天

ヌマエビ科



生息地

中之島、喜界島、沖永良部島など

主な特徴

体長約20mm。生時には体が透明で、大小さまざまな灰色がかった青色の模様が見られる。

ヒメオカガニ

県希

オカガニ科



生息地

種子島、徳之島

主な特徴

甲長23mm、甲幅26mm程度の小型種。海岸近くの湿潤な陸地や枯れ葉の堆積しているところに生息する。

バーバートカゲ

県希

トカゲ科



生息地

奄美大島、加計呂麻島、諸島、与路島、徳之島

主な特徴

胴頭長は50～70mm程度。本属の種は、幼体の尾が青いのが特徴であり、本種は特に鮮やかである。
またメスは成体になってもこの色が残ることが多い。

タメトモハゼ

県希

カワアナゴ科



生息地

種子島、屋久島、奄美大島、徳之島

主な特徴

成魚は、250mmほど。体中央に暗色縦列斑があり、体上部に赤色や黄色の斑点が散在する。

ムラクモカノコガイ

県希

アマオブネガイ科



生息地

奄美大島

主な特徴

成貝で殻長15～25mm、殻平は平滑で螺旋はやや高まる。色彩は変化に富むが、細かい鱗模様が多い。

ヤシガニ

県希

オカヤドカリ科



生息地

奄美大島、徳之島、小宝島など

主な特徴

甲長120mmになる大型種で、甲はハート型をしており、ハサミ脚は左側が常に大きい

ドウクツベンケイガニ

県希

ベンケイガニ科



生息地

徳之島、沖永良部島、与論島

主な特徴

大甲幅20mm前後。
内部に地下水域が存在する石灰岩洞窟の陸域に生息する。

コウナガカワスナガニ

県希

ムツハリアケガニ科



生息地
奄美大島

主な特徴
小型の種で甲幅5mmを超えることは稀である。
比較的塩分濃度の高い泥質干潟の水中に生息する。

ヨウナシカワスナガニ

県希

ムツハリアケガニ科



生息地
奄美大島

主な特徴
甲長5mm前後の小型種。水路の感潮域下部にある底質が砂礫や軟泥質からなる岸近くの水の中斜面に生息する。

ミヤビカンアオイ

県希

ウマノスズクサ科



生育地
奄美大島
主な特徴
小型の常緑草本。一―二枚の葉を根生し、葉は卵型。

ハツシマカンアオイ

県希

ウマノスズクサ科



生育地
徳之島

主な特徴
常緑多年草、花柄が長い。

アマミアセビ

県希

ツツジ科



生育地
奄美大島
主な特徴
常緑の低木、葉が鈍頭、花が大きいのが特徴。

アマミセイシカ

県希

ツツジ科



生育地
奄美大島
主な特徴
常緑の小高木、薄桃を帯びた白い花が咲く。

テンノウメ

県希

バラ科



生育地
小宝島、宝島、奄美大島、喜界島など
主な特徴
常緑の低木、海岸の岩場に生育する。

ウケユリ

県希・県天

ユリ科



生育地
奄美大島(宇検、与路島、請島)
主な特徴
常緑の多年草、明るい林内や岩場に生育する。
※県天:請島に自生するウケユリが対象

キバナノセッコク

県希

ラン科



生育地
奄美大島、種子島、屋久島など
主な特徴
常緑ラン。樹幹や岩上に着生する。

クスクスラン

県希

ラン科



生育地
奄美大島
主な特徴
常緑ラン。老木の樹上に着生する。

シコウラン

県希

ラン科



生育地
奄美大島、徳之島
主な特徴
常緑ラン。岩上や樹上に着生する。

アマミエビネ

県希

ラン科



生育地
奄美大島
主な特徴
常緑の地生ラン。花は白色か淡紅色。

レンギョウエビネ

県希

ラン科



生育地
種子島、屋久島、中之島、奄美大島など
主な特徴
常緑の地生ラン。黄色の小さな花が下向きにたくさん咲く。

オナガエビネ

県希

ラン科



生育地
下甌島、種子島、黒島、徳之島、沖永良部島など
主な特徴
常緑の地生ラン。花は距部が長い。

カンラン

県希

ラン科



生育地
下甌島、奄美大島、大口、屋久島など
主な特徴
常緑の地生ラン。花は三枚の萼片と三枚の花弁からなる。

フウラン

県希

ラン科



生育地

主な特徴

下甌島 甫与志岳 屋久島 奄美大島など

常緑の着生ラン。樹幹に着生。葉は一〇cm程度で厚い。

カクチョウラン

県希

ラン科



生育地

主な特徴

種子島 黒島 諏訪之瀬島 屋久島など

常緑の地生ラン。日当たりのよい草原に咲く。

ナゴラン

県希

ラン科



生育地

主な特徴

高隈山 佐多 中之島 平島 奄美大島 徳之島など

常緑の着生ラン。樹幹に着生する。

アキザキナギラン

県希

ラン科



生育地

主な特徴

屋久島 奄美大島など

常緑の地生ラン。暖温帯の常緑広葉樹林下に生える。

II.奄美群島に生息・生育する

主 希 動

な 少 植

国 野 物

内 生 種

アマミノクロウサギ

国希・国特天

ウサギ科



生息地

主な特徴

奄美大島 徳之島

頭胴長418～510mm、尾長11～35mm、体重1,300～2,700g。目と耳が小さく手足が短い。爪は強力で穴掘りに適している。

ケナガネズミ

国希・国天

ネズミ科



生息地

主な特徴

奄美大島 徳之島 沖縄県北部

頭胴長230～330mm、尾長270～360mm。日本産ネズミ類の中で最大。背面には長い剛毛が生えている。

トゲネズミ

国希・国天

ネズミ科



生息地

主な特徴

奄美大島 (アマミトゲネズミ)、徳之島 (トクノシマトゲネズミ)

頭胴長104～147mm、尾長90～120mm、体重70～125g。体には長さ20mmほどの鋭い針状毛が密生している。

平成18年に3種に分けられ、本県にはアマミトゲネズミ及びトクノシマトゲネズミが生息する。

リュウキュウテングコウモリ

国希

ヒナコウモリ科



生息地

主な特徴

奄美大島 徳之島 沖縄諸島

頭胴長47～52mm前後、前腕長34～37mm前後、体重8g前後。体毛は淡褐色である。

アマミヤマシギ

国希

シギ科



生息地

主な特徴

奄美諸島 沖縄諸島

全長約36cm。全体にずんぐりとした体型で、尾と脚は短い。長いくちばしが特徴で、先が少し下に曲がっている。

オーストンオオアカゲラ

国希・国天

キツツキ科



生息地

主な特徴

奄美大島

日本産亜種に比べ大きく、羽色は黒みが強く全体的に暗色。木の幹を嘴でたたくドラミングと呼ばれる交信音を出す。

アカヒゲ

国希・国天

ヒタキ科



生息地

主な特徴

中之島 奄美大島 加計呂麻島 徳之島 沖永良部島など

全長約14cm。オスは喉から胴が黒色だがメスはない。よく通る美声でさえずる。

オオトラツグミ

国希・国天

ツグミ科



生息地

主な特徴

奄美大島

全長約30cm。トラツグミの亜種でツグミ類では最も大きい。尾羽は12枚でトラツグミより2枚少なく、鳴き声も異なる。

オビトカゲモドキ

国希・県天

トカゲモドキ科



生息地

主な特徴

徳之島

頭胴長65～81mmほど。成体の虹彩が赤味を帯び、胴部に淡桃色の横帯が3本ある。

アマミイボイモリ

国希・県天

イモリ科



生息地

主な特徴

奄美大島 徳之島

成体の頭胴長は72～100mm。脊椎は著しく隆起し、胴部の背面は凹凸している。

アマミシカワガエル

国希・県天

アカガエル科



生息地

奄美大島

主な特徴

大型のカエル。頭胴長は雄で88～106mm、雌で105～117mm。眼が相対的に大きい。

オットンガエル

国希・県天

アカガエル科



生息地

奄美大島、加計呂麻島

主な特徴

頭胴長は雄で93～126mm、雌で111～140mm。非常に大型で頑丈な体格のカエル。

アマミデンダ

国希

オシダ科



生育地

奄美大島

主な特徴

常緑のシダ植物。渓流沿いの湿った岩上に生育する。

ヤドリコケモモ

国希

ツツジ科



生育地

奄美大島

主な特徴

谷筋の老木などに着生する常緑の低木。

コゴメキノエラン

国希

ラン科



生育地

奄美大島

主な特徴

常緑の着生ラン。風衝低木林の幹に着生する。

ウスイロホウビシダ

国希

チャセンシダ科



生育地

沖永良部島、与那国島

主な特徴

常緑性の多年草。隆起珊瑚礁上に生育する。

コモチナナバケシダ

国希

ナナハゲシダ科



生育地

徳之島、沖永良部島

主な特徴

常緑性の多年草。石灰岩地の林床に生育する。

トクノシマテンナンショウ

国希

サトイモ科



生育地

徳之島

主な特徴

地下に球茎を有する夏緑の多年草。

台湾アマクサシダ

国希

イノモトソウ科



生育地

徳之島

主な特徴

根茎は斜上し、葉を相接して生じる。葉柄は赤褐色で光沢がある。

Ⅲ.奄美群島に生息・生育する

国・県指定天然記念物

※Ⅰ・Ⅱとの重複除く

カラスバト

国天

ハト科



生息地

長島、鰐島、種子島、屋久島、奄美諸島など

主な特徴

全長40cmで雌雄同色。ほぼ全身金属光沢を帯びた黒色で、特に頭上は紫色光沢が強い。

オカヤドカリ

国天

オカヤドカリ科



生息地

奄美諸島、沖縄諸島、小笠原諸島など

主な特徴

陸上で生活するヤドカリで、日本では6種類ほど確認されている。成長にあわせ、体に適した宿貝を次々に交換する。

ルリカケス

国天

カラス科



生息地

奄美大島、加計呂麻島、請島

主な特徴

全長約38mmで雌雄同色。成鳥は飛んだとき翼や尾の先端の白色が目立つが、幼鳥は白くなく全体的に褐色味が強い。

アマミハナサキガエル

県天

アカガエル科



生息地

奄美大島、徳之島

主な特徴

大型のカエルで雌の方が明瞭に雄より大きく、頭胴長は雄で56～69mm、雌で75～101mm程度。

凡例

鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例

県希 県指定希少野生動植物種の保存法

国希 国内希少野生動植物種文化財保護法・条例

国特天 国指定特別天然記念物

国天 国指定天然記念物

県天 県指定天然記念物